



今年度の初回講義は、先生ご自身の希望もあり、  
教室を学外に移しての授業としました。

ボクシングトレーニングを通じて、青少年の健全な人格育成と社会参加を目指す「NPO法人 フリースクール・グロービー」(安芸区船越南)のご賛同を得て、ボクシングジムの設備のある会場を教室として、実施しました。※

世界チャンピオンというプロ中のプロであった世界から得た様々な教訓を中心に、時には、ワンラウンドの3分間という時間が身体能力として如何に長い時間かということなどを受講生に体験させるなど、熱気のある講義となりました。

加えて、テレビ局及び新聞社のメディア取材が入るなど、時間が瞬く間に過ぎたというのが受講生の感想でした。

▶ **まず、授業の前に腹ごしらえ?**

ゼミ生全員がガッツ石松先生を囲んで、昼食懇談会。現代社会学部の2階吹き抜けの広々とした学生食堂で、「日替わり定食」を食べながらのおしゃべりからスタート。このあと、用意したバスで、学外の特設教室へ移動しました。



◀ **なんと、教室は、ボクシングジムのリング上。**

プロとしての現役時代の素晴らしい実績と様々な思い出が後押しをして、ガッツ石松先生の講義も思わず引き込まれるような真剣さと熱気あふれるものとなりました。

▶ ※「NPO法人 フリースクール・グロービー」は、小学生から高校生までにボクシングトレーニングを通じて、健全な育成、社会参加への支援をしており、不登校の児童生徒の学習支援にも力を入れています。今回の「ガッツゼミナール」は、こうした地域の課題解決に取り組む現場のお話も、グロービーの丸亀会長から伺うことが出来ました。



◀ 身体を動かすことも大切だよと、静かな教室もたちまち運動指導のリングに。